

アオモンギンセダカモクメ

兵庫県：要調査

Cucullia argentea

環境省：

種の概要

開張35mm程度。前翅は銀白色で、抹茶色の網目状斑紋を有する特徴的な種。後翅は白色で後縁部はやや黒褐色を呈する。海岸の草地や河川敷、石灰岩地帯の草原などで記録されており、幼虫はカワラヨモギを食べる。成虫は年1化性で、9月に出現し、ツリガネニンジンの花に好んで訪れる。

(画像無し)

国内分布

本州、四国、九州、対馬

県内分布記録

高砂市

選定理由

| 人為性 | | 特殊生息環境 | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 | | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ |



特記事項

古い記録があるだけで近年の記録がない。平地の荒れ地は調査がほとんど進んでいないので調査が必要

保護上の留意点